

平成21年度 特別推進研究 審査結果の所見

|       |   |
|-------|---|
| 研究課題名 | 配向制御技術で拓く分子の新しい量子相の物理学  |
| 研究代表者 | 酒井 広文   |
| 審査の所見 | <p>応募者は、2波長レーザー光の電場を急峻に遮断することにより、完全に外場の無い条件で分子配向が実現できることを示した。本研究課題は、この方法を更に高度化し、配向した分子のトンネルイオン化、二重イオン化、高次高調波発生など、分子内電子の超高速現象のメカニズムを解明し、分子固有の性質を明らかにすることを目的とする。それにより、非対称な有極性分子の性質の理解が格段に進歩するなど、学術的に高い成果が期待される。また、分子配向の手法の独創性は高い。国際競争が激しく進展の速い分野でもあり、特別推進研究として採択すべきと判断した。</p> |